

中期経営計画

2023年1月期 – 2025年1月期

株式会社 シーイーシー

2022年3月17日

■ サステナブルな社会実現にむけ、デジタル改革（DX）が加速

社会環境

- › 少子高齢化の急速な進展
- › 事業成長と社会貢献の両立への要請
- › ESG/SDGs
- › 価値観の多様化

ICT市場

- › DX投資を中心とした市場成長
- › サービス化の加速
- › セキュリティ需要は拡大傾向
- › ICT人材の慢性的不足

顧客動向

- › 経営環境変化への対応力強化
- › 社内システムの内製化
- › 人手不足/働き方の変化
- › クラウド/アジャイル/DevOpsの加速

技術・トレンド

- › AI、IoT、クラウド、5G
- › 自動車業界のCASE進展
- › セキュリティ/リスクマネジメント
- › マイグレーション（2025年の崖）



■ 「サステナブルな社会の実現」と 「シーイーシーグループの持続的成長」のための課題

ICT技術・ICTサービスの提供と
サステナブルな社会実現への貢献



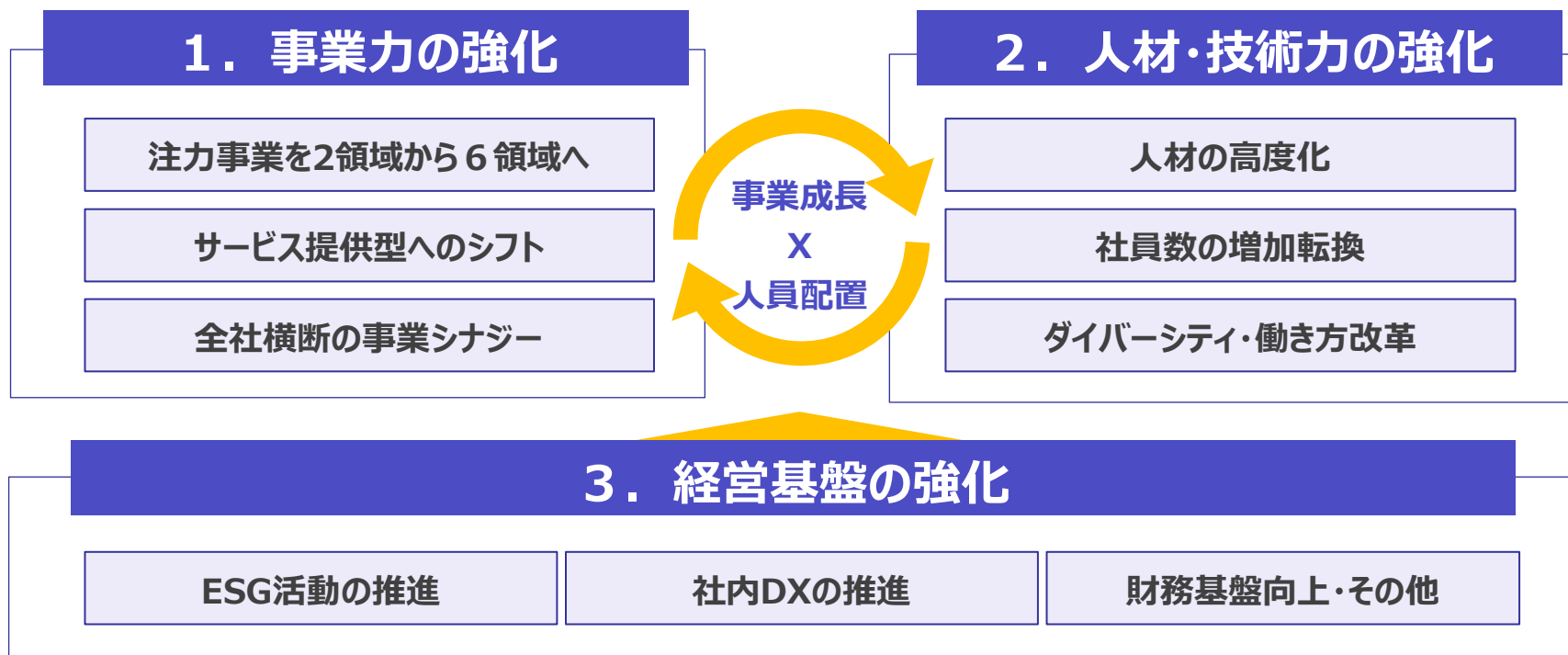
プライム市場移行に伴う
経営の高度化・効率化

- ▶ 低炭素社会の実現
- ▶ 労働力不足の補完や解消
- ▶ サイバーリスク高度化への対応
- ▶ 「2025年の崖」対応
- ▶ 業界・顧客の固有課題の解決
- ▶ DX実現のサービス開発・提供

- ▶ ガバナンス強化
- ▶ 事業ポートフォリオの最適化
- ▶ 社員数純増転換とDX人材の育成
- ▶ ダイバーシティ／働き方改革の推進
- ▶ 継続的な品質向上と生産性向上
- ▶ 社内DXの推進
- ▶ グループ経営／グループシナジーの強化

■ 基本方針

Vision 2025
「ICT技術で未来を創る企業」へ
～ シーイーシーグループの持続的成長・発展を通じて、サステナブルな未来創りに貢献します ～



■ 環境変化に強く、柔軟なビジネス構造への進化・深化 = 全社DX

基本
方針

▶注力事業の拡大

▶サービス提供型へシフト

▶全社横断の事業シナジー

戦略的投資

シナジー効果の高い成長分野・ICT技術を中心に投資

- ▶ 開発投資と成長投資の配分
- ▶ シナジー重視のM&A投資始動
- ▶ 顧客・共創型R&D、PoC拡大

顧客基盤の強化

業種特化型と新領域の両軸で顧客DX、ICT需要獲得

- ▶ 製造・IT・金融・公共特化型
- ▶ 高収益・新領域の事業創出型
- ▶ 顧客の戦略的DX、ICTに重点

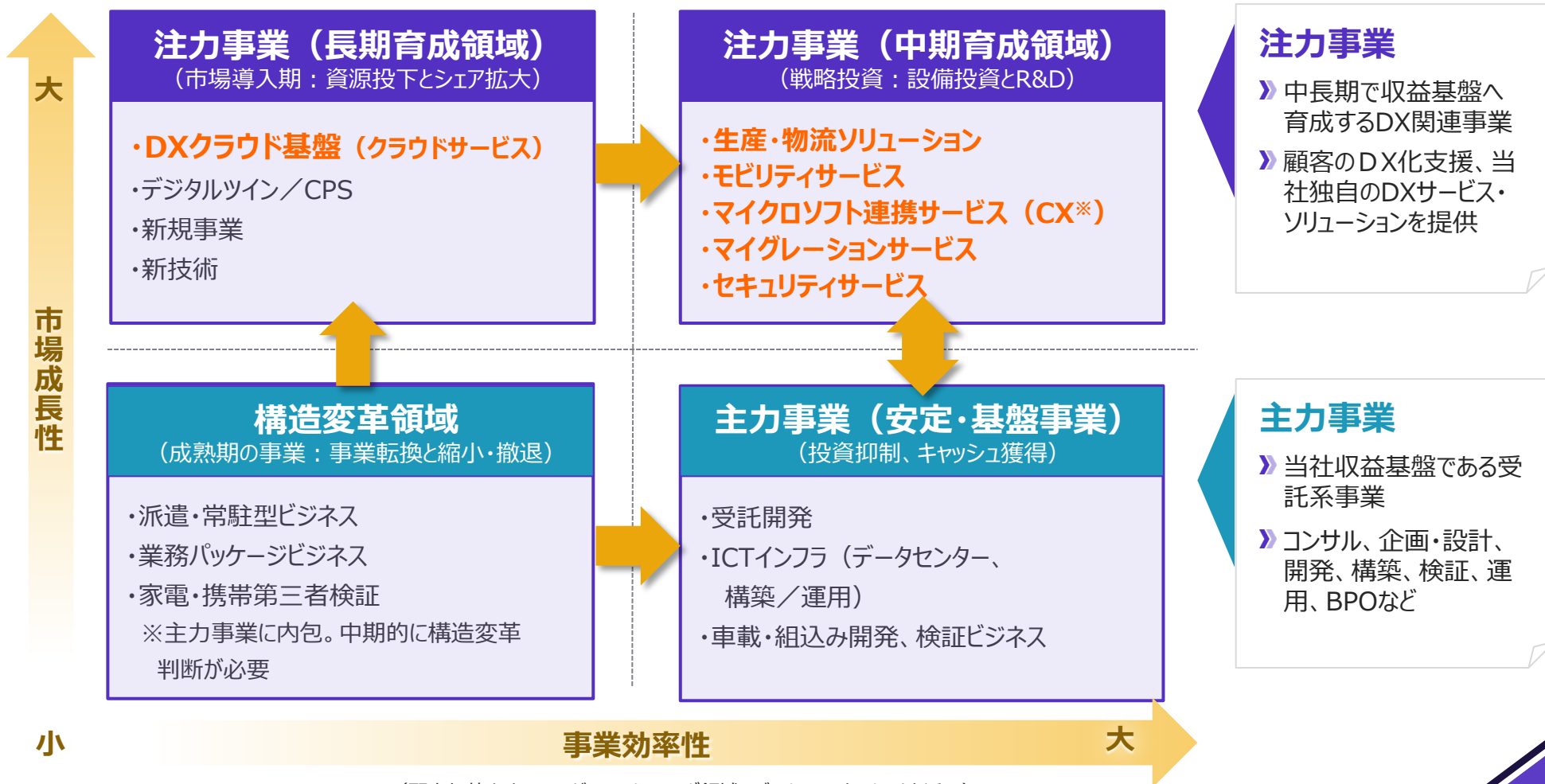
市場・環境変化に強い組織

自律型の組織、人材を活かす投下資本の仕組みづくり

- ▶ 事業本部制に組織機能を統合
- ▶ 意思決定プロセスの迅速化
- ▶ ポートフォリオ戦略の拡充

事業活動を通じた社会課題・産業課題の解決

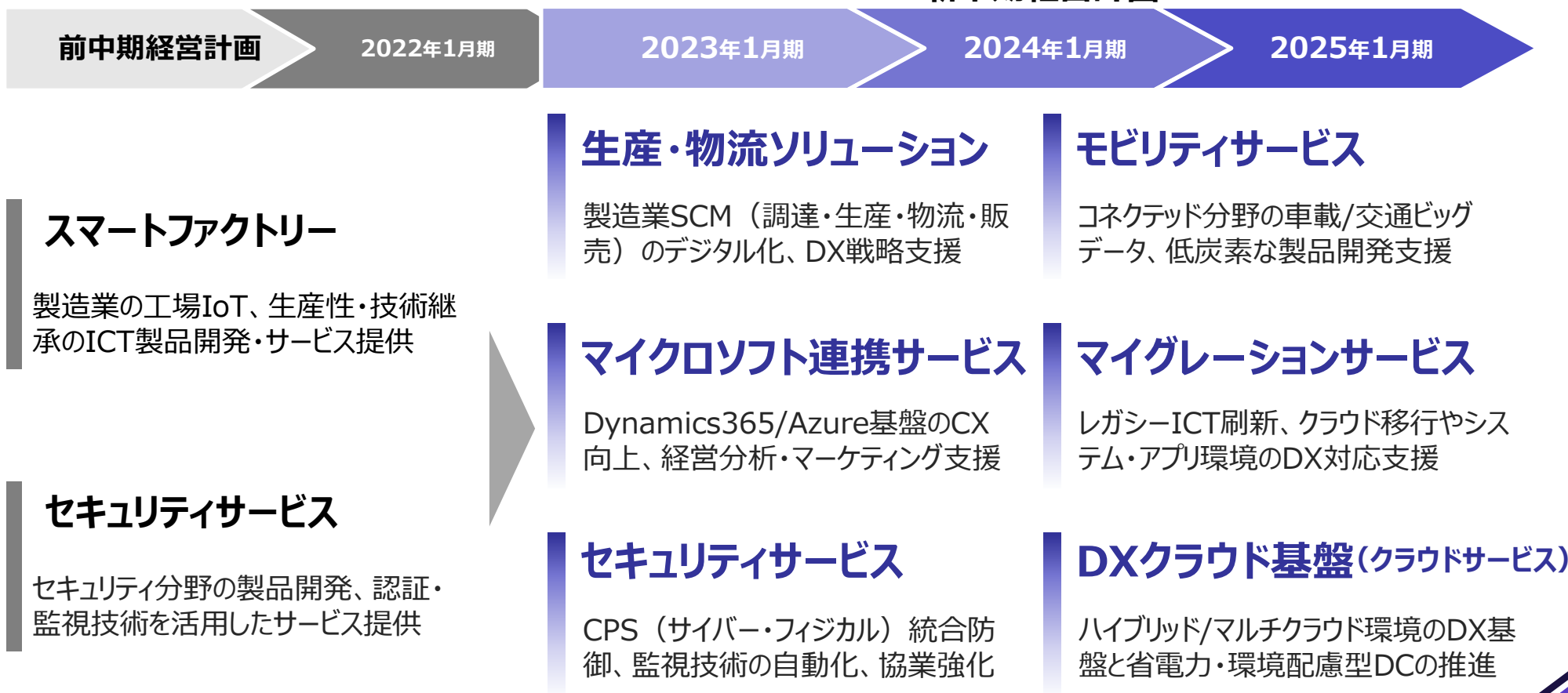
■ 主力事業の持続的成長と注力事業の領域拡大・推進



※ CX: Customer Experience（顧客価値向上につながるマーケティング領域のデジタルシフト、クラウド活用）

■ 注力事業：DX戦略・全社横断の事業シナジー創出

新中期経営計画



■ 競争力の源泉である人材の積極的な採用・高度化・再配置を図る


人材の高度化

- ・クラウド技術の強化
- ・高位技術者の選抜・育成
- ・マネジメント力の強化


社員数増加
への転換

- ・中期計画 3 年間で150名以上の純増
- ・採用強化と離職抑制


ダイバーシティ

- ・多様な社員全員の個性と価値観を重視し、活躍できる環境を整備
- ・女性活躍推進、女性管理職比率の向上など


働き方改革

- ・職制、キャリアパス、多様な働き方を踏まえた新しい人事制度の設計
- ・働き方改革、待遇改善、月平均残業時間 20H以下継続など

■ 持続的な成長を支える経営基盤の強化を図る

ESG活動の
推進

【環境】環境方針・目標の設定とPDCA、CO2削減の推進
 【社会】社会貢献、医療支援
 【ガバナンス】コーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスなど

事業を通じた取り組み

》 物流ソリューション
 トラック待機時間削減、
 CO2削減

》 作業支援システム
 外国人、聴覚障がい者
 とのコミュニケーション

》 認証印刷システム
 紙の使用量削減、
 消費電力削減



社内DXの
推進

- ・基幹系システムの刷新／業務プロセスのデジタル化、自動化
- ・社内インフラ基盤の強化

財務基盤向上
その他

- ・財務基盤の維持・向上
- ・品質向上／赤字プロジェクト撲滅
- ・M&A、アライアンス、共創プロジェクトなど

- 財務基盤の維持・向上を図りつつ、積極的な成長投資と株主還元の強化により、持続的な企業価値向上を目指す

◎ 定量的目標値

- ・ROE：12%以上
- ・配当性向：40%以上

◎ キャッシュアロケーション（配分）の考え方

財務健全性	手元流動性の確保
成長投資 事業基盤投資	インタンジブル (無形資産) 投資 タンジブル (有形資産) 投資
株主還元	配当
	自己株式取得



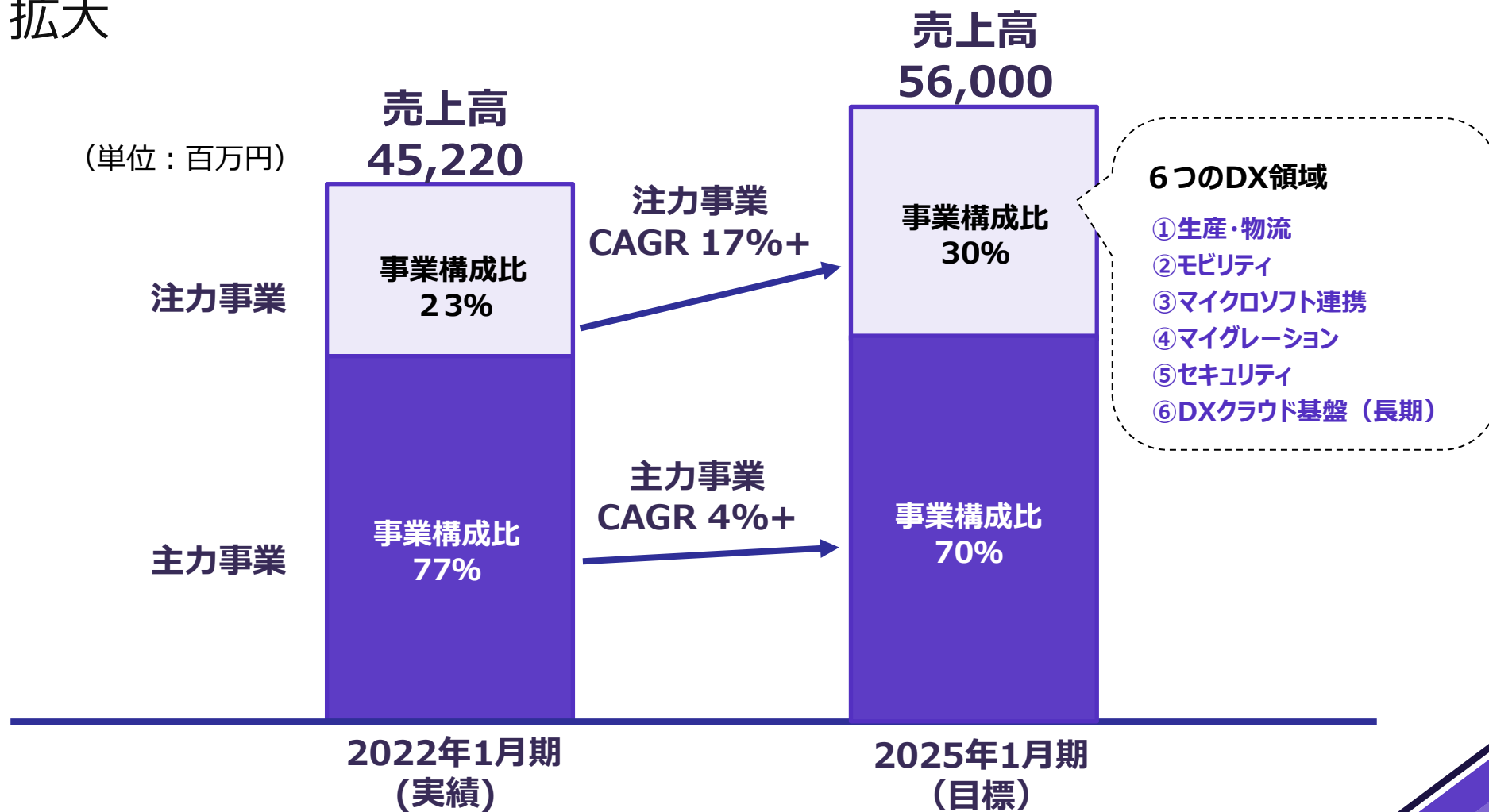
■ 主要經營指標

(単位：百万円)

	2022年1月期 (実績)	2025年1月期 (目標)
売上高	45,220	56,000
経常利益	4,282	6,900
経常利益率	9.5%	12.0%以上
自己資本利益率 (ROE)	8.7%	12.0%以上

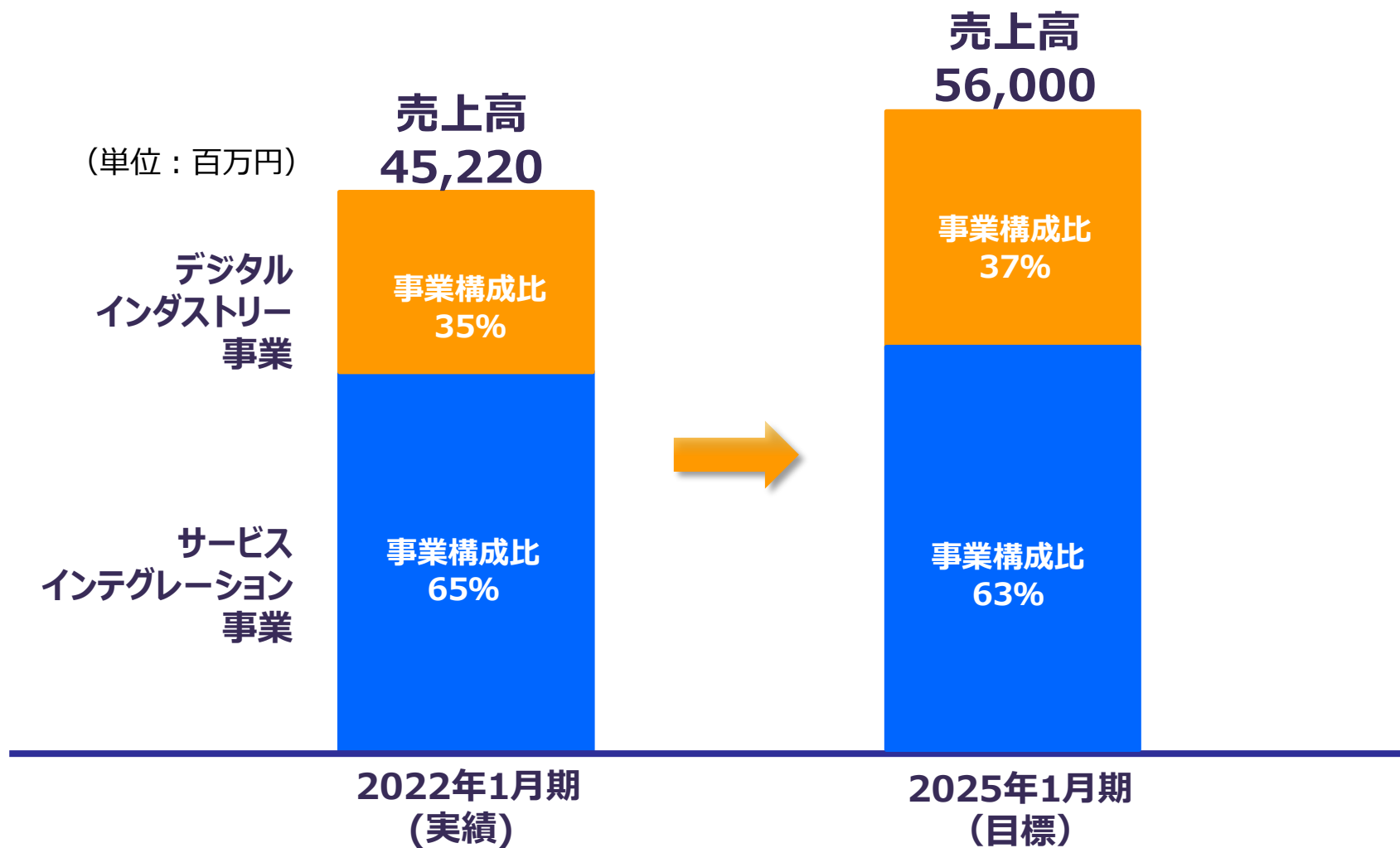
数値目標（主力事業・注力事業）

■ 主力事業の着実な成長と注力事業（DX領域）の基盤確立と領域拡大



数値目標（事業セグメント）

■ 事業セグメント別売上目標





Shape your future

[お問合せ先]	株式会社シーイーシー
経営企画部 IR担当	03-5789-2442
経理部 IR担当	046-252-4111
E-mail	IR@cec-ltd.co.jp

- 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性があることをご承知おきください。